



松原かわら版

世帯数 1,260 戸
人口 2,980 人
高齢化率(65歳以上) 29.2%
(令和5年12月1日現在)

- ①2023年楽しかったこと
- ②2023年残念だったこと
- ③抱負(ひとこと)への思い

辰年・年女を迎えた皆さんから抱負をお聞かせいただきました。

辰年の由来となる龍は十二支で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、出世や飛躍に大きく関わる年と言われています。

天に昇る龍が松原地区へ幸運を呼び込んでくれますように！



- ①学校でキャンプに行ったこと
- ②サッカーであまり勝てなかったこと
- ③小学校最後の年なので、全力で頑張りたいです
(中村 匠)



- ①北海道旅行
- ②苦労して作ったねこつぐらにねこが入らなかったこと
- ③健康で日本中の好きな野草を見たいです
(土屋 留美子)



- ①毎日
- ②入院したこと
- ③色々挑戦！

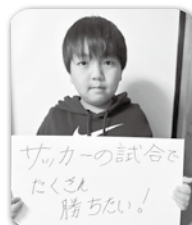
(田中 稔)

辰

市ノ瀬進 書



- ①みんなでやったお誕生日会
- ②インフルエンザにかかって初めて学校を休んだこと
- ③6年生になってみんなのお手本になれるように勉強や生活を頑張るようにしたいです
(各務 由楽)



- ①ディズニーランドへ行ったこと
- ②サッカーの試合に負けてしまいアルウィンへ行けなかったこと
- ③たくさん勝ち、大会で優勝したい

(一之瀬 禪)

- ①学校でみんなと遊んだこと
- ②バンドフェスティバルで次の大会へ進めなかったこと
- ③パーカッションの基礎練習やピアノの練習を毎日続ける！

(南澤 心和)



- ①最後の大会で優勝できたこと。逆転スリーランホームランを打ったこと
- ②腰の骨折が治ったら、すぐ左腕を骨折したこと。スキーがいっぱいできなかったこと
- ③ピッチャーでは完封を目指し、バッターでは昨年のホームラン記録を更新して、たくさん優勝したいです。そして、バスケも上手くなりたいです。



(小松 奏心)



(荒井 良司)

- ①コロナが5類になり、4年ぶりに仲間と旅行に行けたこと。また菅平高原へ一泊マレットゴルフを満喫したこと
- ②髪の毛が薄くなり、洗髪時地肌が見えるようになったこと
- ③70歳を過ぎ、健康でマレットゴルフやスポーツ吹き矢を楽しみ、公民館行事へも参加できる今が一番幸せです

- ①所属している少年団のクリスマス会
- ②サッカーのプレーに自信が持てなかったこと
- ③去年頑張れなかった、今年は続ける力をつけたい



(後藤 優希)

今年も「からくり時計」

松原モールのからくり時計が完全復活して3年になります。今回、修理を中心になって推進してくれた第3町会の中さんに、修理やその後のからくり時計のお世話について話をお伺いしました。



3年前の修理
時計台の北東の角に風車の形をした風速計が付いていることをご存知ですか？からくり時計の人形たちの演奏は、10時と12時、15時、17時の1日4回行われます

が、それぞれの演奏5分前から開始までの間に、時計台に吹き付ける風が秒速10mを超えると、その回の人形達による演奏は中止して音楽だけを流すようになっていきます。

もう一つ、時計台の南東の角には青色のパトランプが付いています。このランプは、強風で人形達による演奏が中止した時や、内部の動作に異常が発生した時に点滅するようになっています。強風で点滅した時は、演奏が終わるとランプは消灯します。しかし、からくりの扉が開いたままランプが点滅し続けている時は、どこかでトラブルが発生していますので、まずは地区公民館にお知らせください。

30年前、時計台は火災に遭い水をかけられたまま放置されて

しまいました。修復修理で一番大変だったのは、内部が錆び付いていて、人形達の下側にある制御ボックスが開かず、さらにモーターも錆びていて、それらを外すだけで一か月掛かったことです。修理作業が出来ない状態が続き諦めかけましたが、募金活動をした仲間や応援してくれている人達の顔を思い浮かべると、途中止めすることはできませんでした。

修理では内部のケーブル類は全て交換し、モーターも修復できないものは交換しました。ただ、全体の動作を制御しているシーケンサーは無くなっていた。シーケンサーは、4体ある人形とターンテーブル、開閉扉、音源などの動きを制御している要の装置ですが、既製品は

存在しないので作るしかない代物です。幸い残っていた音源(ブレイメンの音楽隊)を元に各部品の動きを想定し、新しく作り替えました。また、人形本体は地区福祉ひろばの男性協力者達が、全てバラして修理しながら再塗装してくれました。その結果、令和2年10月に地域の人達が見守る中、からくり時計の復活式を迎えることが出来ました。

最後に、松原のからくり時計はメカ的な機構部品とセンサー、モーターで動いている世話の掛かる装置です。これからも、おもりをしていくつもりですが、仲間が必要です。からくり時計に興味のある方、工作が好きな方、是非仲間になってください。

「城下町に灯るあかり」

松原のイルミネーションだけでなく、市街地ではさらに大規模なイルミネーションが開催中です。

松本市イルミネーションは大きく3つの要素で構成されます。大名町通りの樹木・千歳橋の欄干を彩るもの、大手門枳形跡広場のモニユメント、そして松本城のプロジェクトクションマップピングです。

大名町・千歳橋は、大正期を彷彿



とさせるガス灯が目を引きまします。「イルミネーション」と聞くと眩い光が連想されますが、城下町らしく歴史を感じる佇まいと様々な文化が交差し作り上げられてきたモダンな雰囲気調和した印象を感じることが出来ます。

大手門枳形跡広場(旧・鶴林堂)には、クリスマスツリーを模したモニユメントが出現します。12月のみの開催ではありますが、雑貨や古着などを販売するクリスマスマーケット

トやライブ演奏といった催しが開かれます。最旬グルメを口にし、澄んだ空気と優しい光に包まれるこの空間は、松本の冬を象徴するニュー



クシオンマップピングへとバージョンアップを図りました。アニメーションのストーリー性はもちろん、天守のみならず、場所や箇所によつて異なる幅広いカラー表現は、思わず写真に収めたくなる我が誇る「国宝」の新たな一面です。

松本城では、今期から初のプロジェクトクションマップピングを開催しています。昨年度までは点と線やかたどるレーザーマップピングを行っていましたが、より鮮やかでダイナミックな映像表現により、さらに多くの観光誘客に結びつけるため、プロジェ

寒さで足が進まない時期ではありますが、冬の夜にしか味わうことができない街歩きには、きっと新たな発見が待っています。



私は数年前から、ラニングに興味があります。始めたきっかけは、ダイエツトが目的で、松原を少し走ってみようかな程度でしたが、今ではランニングシューズやウェアなどを揃え、タイムを計り、どこを走ろうかと考え、結構楽しく、継続しています。走っている最中は、音楽を聴いたり考え事をしたり、走った後はとても気持ちよく、私にとってリフレッシュの時間になっています。学生の頃は走る事なんて、まったく好きではありませんでした。サボる理由を考えていた事を思うと、子育ても少し落ち着き、特に趣味などなかったもので、この年になって、まさかランニングが趣味になるなんて、思ってもいませんでした。主人も子供も「行つてらっしゃい」「頑張つてね」と応援してくれています。今の目標は、「松本マラソン」に出る事です。松本市民なので、是非走ってみたいと思えますが、完走出来るよう、頑張つて練習しようと思えます。

(編集委員)